

速報

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

米軍が市民3人拘束

辺野古中止訴え集会



辺野古新基地建設に抗議する集会に参加し、集まった市民ら22日前15時24分、名護市のキャンプ・シユワブ新ゲート前

民意無視、政府に怒り

【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古への新基地建設に反対しようと、県選出・出身野党国会議員や県議会与野5会派などをつくる「止めよう辺野古新基地建設実行委員会」は22日午後1時から、米軍キャンプ・シユワブのゲート前で県民集会を開いた。辺野古で県民集会が開かれるのは翁長雄志知事が建設阻止を公約に掲げて当選し、就任した2014年12月以来初めて。

午後0時50分までに約2千人が集まっており、「県民の意向を無視した作業強行は許さない」「海上作業は中止しろ」などと声を上げ、作業を強行する政府に怒りの拳を上げた。

同日午前10時から予定されていた海上行動は悪天候のため中止された。ゲート前では午前7時から市民らが抗議行動を展開していたが、道路上下の抗議行動を排除しようとする機動隊と断続的に衝突。米軍の警備員とみられる者に沖繩平和運動センターの山城博治議長ら3人が一時拘束された。正午現在、山城議長ら2人が基地内に拘束されている。

日本政府は14年11月の県知事選や衆議院議員選挙などを受け一時中断していた海上作業を、ことし1月15日に再開。浮員（フロート）などのアンカー（重り）としてコンクリート製のトンプロック（10〜45センチを海底に設置するなど準備を進めている）。

ゲート前には、県民集会を前に「沖繩」建白書を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」が出す貸し切りバスなどが続々と到着した。



機動隊バスの基地内への進入を阻止しようと抗議する市民ら。県警がもみ合う22日前10時59分、名護市のキャンプ・シユワブ新ゲート前

守れ命、海、平和



海上抗議に使うカヌーを基地前に運ぶ市民ら。22日前10時26分、名護市のキャンプ・シユワブ新ゲート前



海上保安庁の巡視船に向かって抗議する漁業関係者ら。22日前9時42分、名護市辺野古沖



総勢バスを降りる集会参加者。22日前15時15分、名護市のキャンプ・シユワブ新ゲート前